

# 三洋貿易株式会社

## 2017年9月期 決算説明資料

---

2017年11月28日





## 第一部

2017年9月期連結決算実績

## 第二部

長期ビジョン“VISION 2020”の進展状況

## 第三部

新中期経営計画

## APPENDIX

会社説明資料

# 第一部

## 2017年9月期連結決算実績

---





8期連続の経常増益達成、過去最高益更新

“VISION 2020” 利益目標を前倒しで達成

機械資材、海外現地法人セグメントは自動車関連で伸長

化成品セグメントも好調を維持し、健闘

前期比で通期10円増配で、年間配当は59円



## 2017年9月期 連結決算実績

- 長期ビジョン“VISION 2020”の利益目標である、連結経常利益50億円を、3年前倒しで達成
- 自動車業界の好況による機械資材セグメント及び海外現地法人セグメントの大幅伸長に加え、化成品セグメントも好調に推移し、連結経常最高益達成
- 今回の好業績要因には、大型スポットビジネスも含まれる

(単位:百万円)

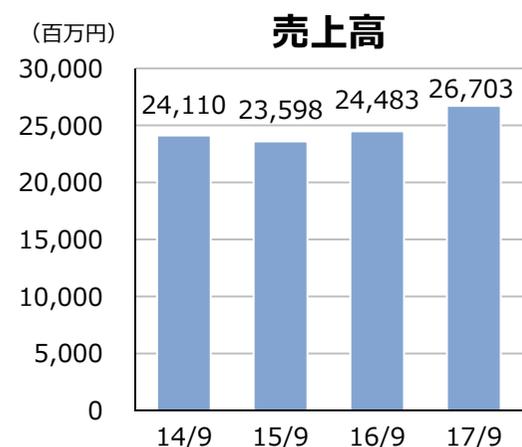
	2016年9月期	2017年9月期				
	金額	金額	前期比 増減率	構成比	期初計画 (2017/5/10公表)	計画比
売上高	59,908	67,738	13.1%	100.0%	67,000	1.1%
売上総利益	10,017	12,264	22.4%	18.1%	-	- %
<売上総利益率>	16.7%	18.1%	-	-	-	-
販売費及び 一般管理費	5,964	7,325	22.8%	10.8%	-	- %
営業利益	4,052	4,938	21.9%	7.3%	4,800	2.9%
経常利益	4,274	5,270	23.3%	7.8%	4,950	6.5%
<経常利益率>	7.1%	7.8%	-	-	7.4%	-
親会社株主に帰属 する純利益	2,757	3,351	21.5%	5.0%	3,200	4.7%
EPS (円)	192.79	234.20	-	-	223.64	-
配当 (円)	49.0	59.0	-	-	58.0	-

# 2017年9月期 セグメント別 売上・利益の変動要因①



## 化成品

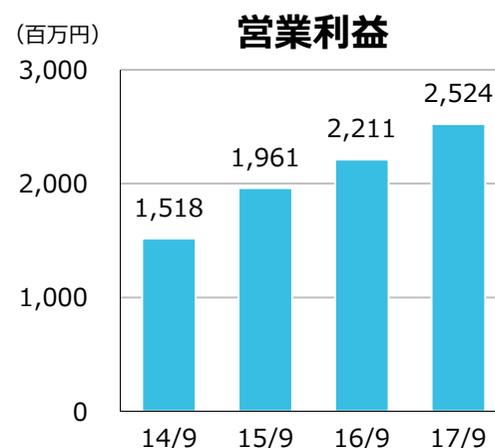
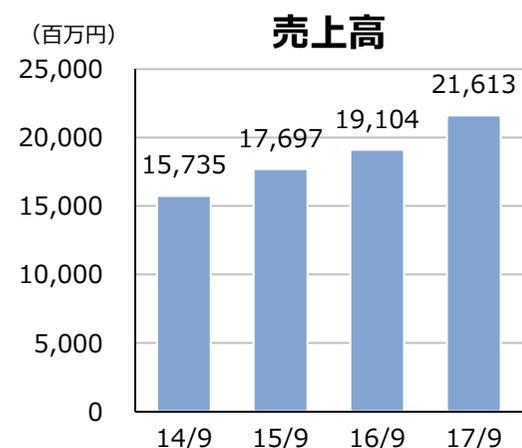
(単位：百万円)



	金額	前期比増減率
売上高	26,703	9.1%
営業利益	1,642	30.0%

- ゴム関連商品：主力の自動車・家電・情報機器向けの合成ゴムや添加剤などの副資材が好調。また輸出商材の販売も好調
- 化学品関連商品：塗料・インキ原料や香料及び染料が好調に推移。医薬関連商品、畜産関連商品、接着剤及び関連機器の販売も堅調。ソート社も寄与

## 機械資材



	金額	前期比増減率
売上高	21,613	13.1%
営業利益	2,524	14.1%

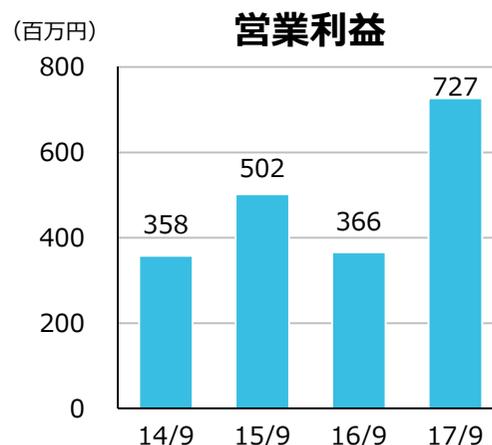
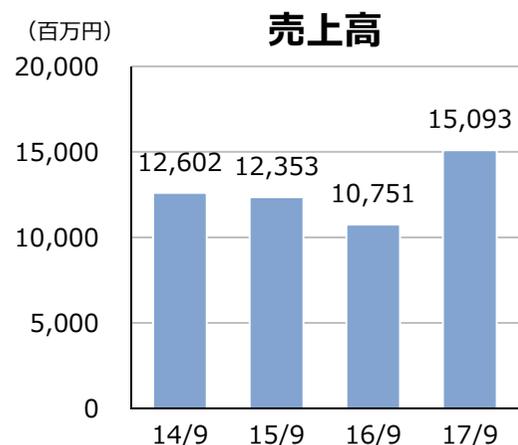
- 産業資材関連：シート用高機能部品をはじめ、自動車内装用部品全般が大きく伸長
- 機械・環境関連：飼料・肥料用ペレットミルは堅調に推移。木質バイオマス関連機材の国内2号機を納入
- 科学機器関連：耐候性試験機や表面物性測定装置、摩擦摩耗試験機等の分析・試験機器が好調

# 2017年9月期 セグメント別 売上・利益の変動要因②



## 海外現地法人

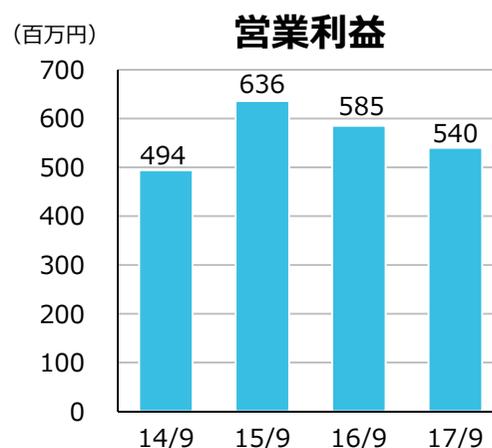
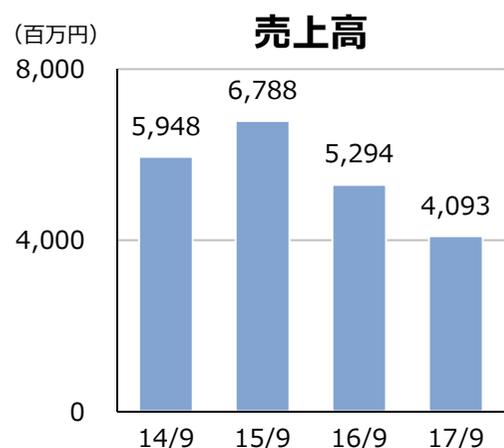
(単位：百万円)



	金額	前期比増減率
売上高	15,093	40.4%
営業利益	727	98.2%

- SCOA(米国)：モーター等の自動車内装用部品の好調に加え、ゴム新規商材も寄与
- 三洋物産貿易(上海)：自動車内装用部品が好調。接着剤販売も伸長
- San-Thap International(タイ)：自動車用部品及びゴム関連商品の販売が好調

## 国内子会社

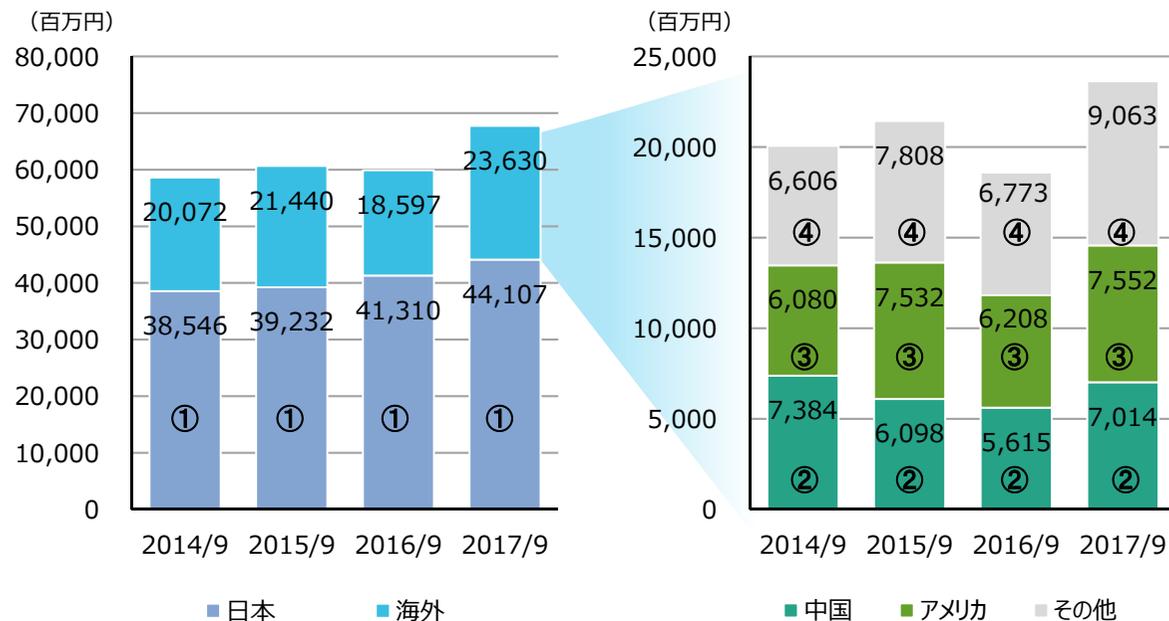


	金額	前期比増減率
売上高	4,093	▲22.7%
営業利益	540	▲7.7%

- コスモス商事：地熱開発関連の機器販売やレンタル事業が好調も、海洋・船舶関連で前年の特需無し
- ケムインター：韓国・台湾・米国向けの化学品および半導体関連商材の輸出が好調



# 地域別(仕向地別) 売上推移



(単位:百万円)

		2017年9月期 地域別売上高		
		金額	前期比 増減率	構成比
日本	①	44,107	6.8%	65.1%
中国	②	7,014	24.9%	10.4%
アメリカ	③	7,552	21.6%	11.1%
その他	④	9,063	33.8%	13.4%
合計		67,738	13.1%	100.0%

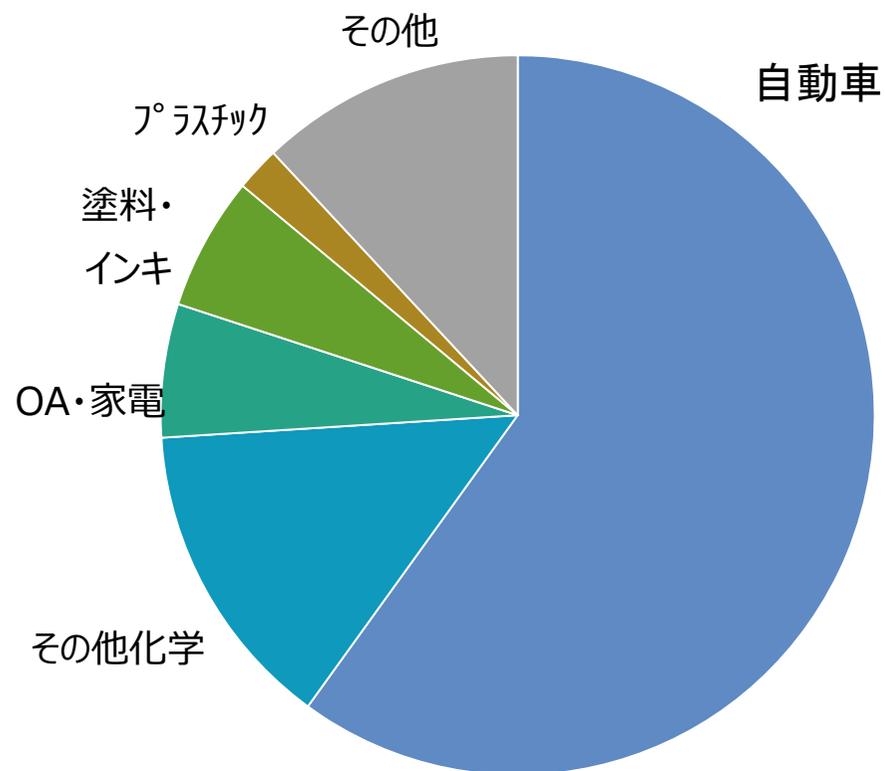
## 変動要因

日本	中国	アメリカ	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>M&amp;A効果も含め、化成品・機械資材と全般的に好調に推移</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車内装部品の好調に加えて、接着剤関連が大幅に伸長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車内装部品が非常に好調に推移</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アセアン地区の伸長に加えて、韓国・欧州向けも好調</li> </ul>

# 業界別・販売先別・売上構成比(2017年9月期)



## 主な業界別 (単体ベース)



## 主な販売先 (単体ベース)

1	トヨタ紡織
2	トヨタ自動車
3	デルタ工業
4	日本発条
5	Gentherm(米)
6	住友理工
7	東洋シート
8	KYB
9	タチエス
10	ブリヂストン

# 2017年9月期 連結貸借対照表①



(単位:百万円)

	2016年9月期	2017年9月期	増減額
流動資産	26,290	31,401	5,110
現金及び預金	3,712	2,635	▲1,076
受取手形及び売掛金	13,622	16,897	3,274
たな卸資産	7,756	10,464	2,708
その他流動資産	1,198	1,404	205
固定資産	6,165	7,586	1,421
有形固定資産	1,984	2,006	21
無形固定資産	855	1,183	328
投資その他の資産	3,324	4,396	1,071
投資有価証券	2,573	3,537	963
資産合計	32,455	38,987	6,532

## 2017年9月期 連結貸借対照表②

(単位:百万円)

	2016年9月期	2017年9月期	増減額
流動負債	10,348	12,875	2,526
支払手形及び買掛金	7,006	8,175	1,168
短期借入金	795	1,555	759
その他流動負債	2,546	3,144	598
固定負債	1,151	1,512	360
長期借入金	50	100	50
その他固定負債	1,101	1,412	310
負債合計	11,500	14,387	2,887
株主資本	19,943	22,516	2,573
その他の包括利益累計額	406	1,290	883
新株予約権	47	64	16
非支配株主持分	557	729	172
純資産合計	20,954	24,600	3,645
負債純資産合計	32,455	38,987	6,532

# 2017年9月期 キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	2017年9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	178
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,359
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲15
現金および現金同等物の増減額	▲1,147
現金および現金同等物の期首残高	3,712
現金および現金同等物の期末残高	2,601

## 第二部

# 長期ビジョン “VISION 2020 ” の進展状況

---



# 長期ビジョン “VISION 2020” -抜粋・戦略-

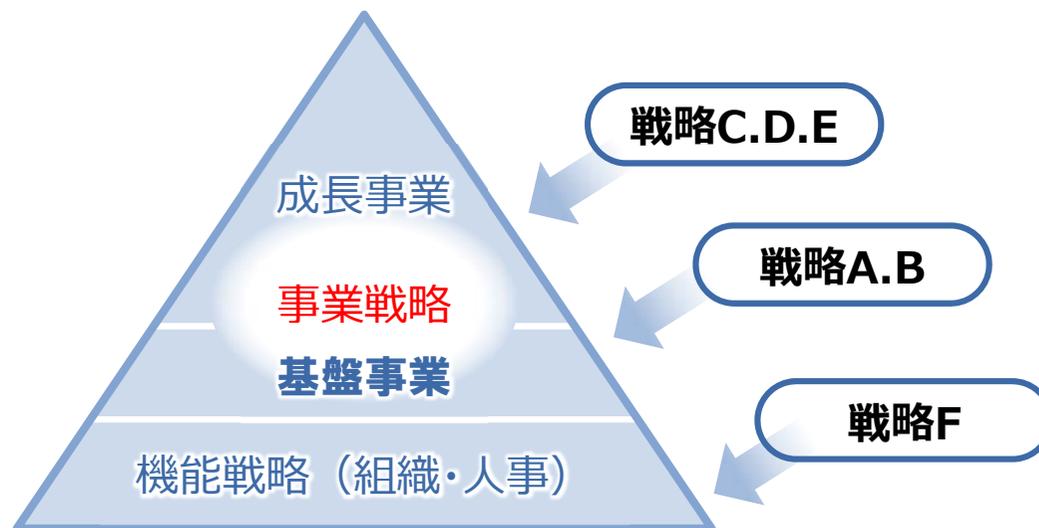


## 6つの戦略

事業戦略	基盤事業	戦略A : 既存コアビジネスの深化
		戦略B : ビジネスポートフォリオの明確化
	成長事業	戦略C : 新規ビジネスのプロジェクト
		戦略D : グローバル展開の加速
		戦略E : 新規投資案件の推進
機能戦略	戦略F : 国内外の組織の強化・最適化	

数値目標を3期早く達成				
数値目標	15/9	16/9	17/9	20/9 までに
連結 経常利益	41.1	42.7	52.7	50億円 以上
ROE	15.9	14.1	15.2	15% 以上
自己資本 比率	62.1	62.7	61.1	50% 以上

(億円、%)





## 戦略 C

### 新規プロジェクトの立上げ

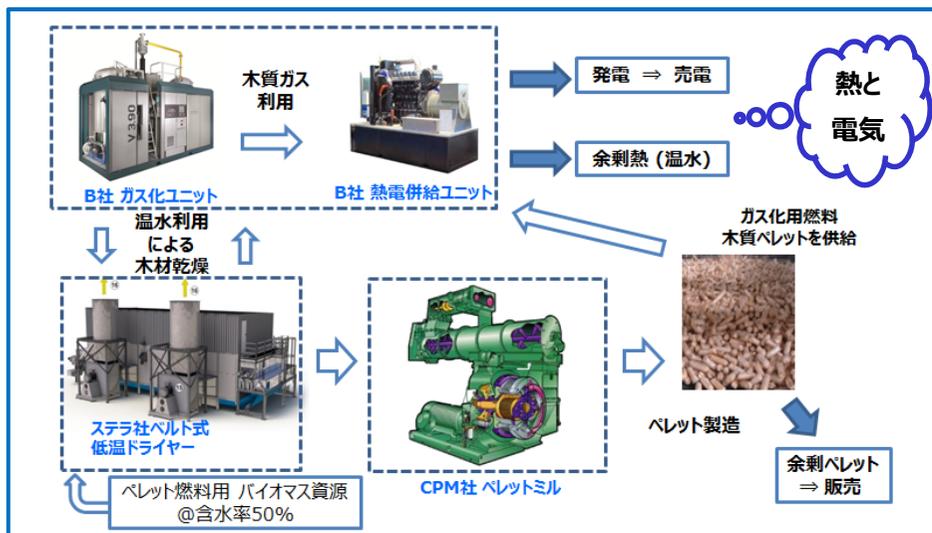
2020年までに具現化可能な新規ビジネスをプロジェクト化し推進する



## 木質バイオマスプロジェクト（継続：機械資材セグメント）

### <ポイント> 熱電併給（コージェネレーションシステム）

- ・独ブルクハルト社(以下、B社)製 熱電併給装置を宮崎県串間市の大型案件向けに受注。来春稼働開始予定。
- ・保守サービスを担う三洋機械工業は鹿児島県志布志市にサービス拠点を設置。
- ・独B社製熱電併給装置+独ステラ社製ドライヤー+米CPM社製ペレットミルの3点セット納入の初案件（下図）



### 概要

事業運営：くしま木質バイオマス株式会社  
 所在地：宮崎県串間市大字西方1805-15  
 定格出力：1,940 kW  
 熱電併給装置：10機導入  
 原木量：約20,000t/年  
 発電開始日：2018年2月（予定）  
 設計・施工：株式会社洗陽電機  
 その他：地元の未利用材を加工し発電に利用  
 ペレット工場新設  
 →発電設備からの熱をペレット工場へ供給

現在施行中の現場  
 (11/2 現在)



# 長期ビジョン“VISION 2020”の進捗 戦略D 事例



## 戦略 D

### グローバル展開の加速

自動車産業で日系企業の進出が続くアセアン+インド、中国、北中米の3拠点を主軸に海外展開を促進する

#### 中国；三洋物産貿易(上海)

##### 地域拡大

- 中華圏のネットワークを活用
  - ・ 上海+香港・天津・広州
- アセアン他海外拠点との取引拡大



青色は連結対象

- 2012年以前に設立
- 2013年に設立
- 2014年に設立
- 2015年に設立
- 2017年に設立



Sanyo Corporation of America

■ Sun Phoenix Mexico

#### タイ；San-Thap International

##### 地域拡大

- 中国、アセアン・インドへ

##### 商材拡大

- 自動車内装部品伸長 (モーターやランバーサポート)
- ソート社取り扱い製品 (紫外線吸収剤、光開始剤、など) の拡売



#### 米国；Sanyo Corporation of America

##### 地域拡大

- メキシコ拠点拡張

##### 商材拡大

- 高機能性フィルム
- 超吸水性ポリマー





# 長期ビジョン “VISION 2020 “ の進捗 戦略E 事例

## 戦略 E

### 新規投資案件の推進

会社方針に符合する案件に積極的投資を行う

#### 日本フリーマン株式会社の子会社化（2017年7月）

概要	
設立	1973年9月
所在地	神奈川県横浜市
事業内容	精密鑄造用副資材、型材等の輸入販売
親会社	三洋貿易株式会社(100%) - 産業資材事業部
資本金	10百万円
売上高	600百万円(2017年2月期)
主な仕入先	Freeman Mfg. & Supply Co. / Remet Co. / Ransom & Randolph Co. 日本総代理店

#### 精密鑄造法(ロストワックス法)とは？

素材(主に金属)を加工する技術である「鑄造」の1製法

- ロウで制作した型にコーティングを施し、その後ロウを溶かすことによって金属鑄型を得る製法。別名「ロストワックス法」という
- 形状・材質が自由自在な加工法、精巧な形状品向け

#### 主な取扱商品

- 精密鑄造(ロストワックス)用副資材、関連機器
- 試作・簡易型材、デザイン用材

#### <取扱商品例>



精密鑄造用副資材全般 (ワックス、鑄型材)



精密鑄造用副資材全般 (ワックス、鑄型材)



精密鑄造用鑄型材 (バインダー等)

#### 主なターゲット市場

- 航空機(ジェットエンジン部品)、自動車(モデル・型、精密金属部品)、産業用ガスタービン、宝飾・ジュエリー分野のメーカー向け

# 長期ビジョン “VISION 2020 “ の進捗 戦略E 事例



## 買収の背景と今後の見込み

### 買収の背景と目的

#### 産業資材事業部における領域拡大

- 得意とする自動車分野に関連しつつも、他の様々な産業への横展開が可能なビジネスへの参入
- 自動車・航空宇宙・産業用ガスタービン用途部品製造過程の副資材。ニッチで高付加価値な分野。当社方針に合致

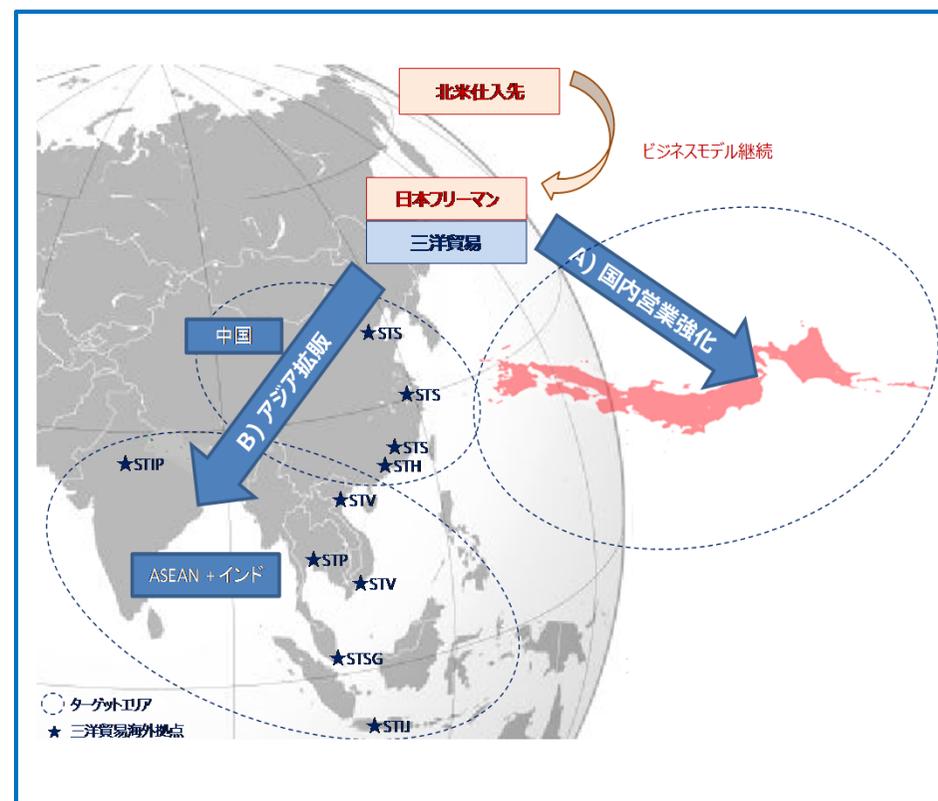
### 三洋貿易による買収のメリットと今後の見込み

#### グローバル展開による成長性を見込む

- 当社営業力及び海外拠点との連携による拡販
- 高付加価値な精密鋳造品の需要が見込まれるアジア新興国への展開



写真出典 ; (株) IHI 様、(株) IHIキャスティング様



# 事業領域の関連分野への拡大



## 2014年以降のM&Aの状況

青色太字は連結対象

### 国内子会社セグメント

コムスター・ジャパン 2015年9月	化学品分野( <b>ケムインター</b> )から 特殊洗浄剤分野へ
-----------------------	--------------------------------------

### 海外現地法人セグメント

Singapore Sanyo Trading 2015年6月	特殊フィルム分野へ
------------------------------------	-----------

### 機械資材セグメント

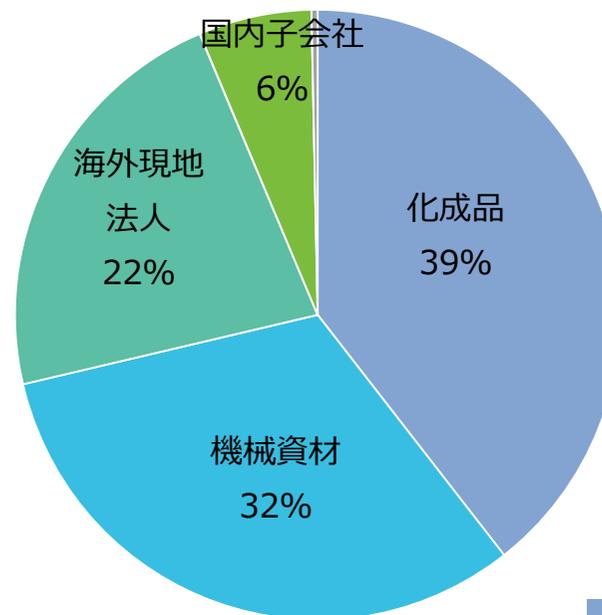
#### 機械・資材事業部

<b>日本フリーマン</b> 2017年7月	自動車分野から精密鋳造分野へ
---------------------------	----------------

#### 科学機器事業部

<b>日本ルフ</b> 2016年7月 三洋古江サイエンス 2017年2月	測定機器分野から医療機器分野へ
--	-----------------

### 2017/9 セグメント別売上比率



### 化成品セグメント

#### 化学品事業部

<b>ソート</b> 2016年2月	UVインキ・光硬化型 樹脂分野へ
-----------------------	---------------------

# 第三部 新中期経営計画

---



# 経営方針に基づく成果について (2017年9月期時点)



## 経営方針(2014年5月公表)と実績・進捗

当社は、経営方針にブレることなく計画を着実に進捗させ、成果を上げております

経営方針	達成度	実績・成果
さらなるスピード感のある業績拡大	○	長期ビジョン 目標を前倒しで達成
グローバル展開	○	・海外セグメントの伸長 ・現地体制の強化
自動車関連産業の成長・グローバル化に歩調を合わせた成長・展開を図る	○	・機械資材セグメントの伸長 ・海外セグメントの伸長

カテゴリ毎の推進方法	達成度	実績・成果
既存ビジネスは積み上げ継続	○	化成品・自動車関連の積上と伸長
新規事業領域の拡大	○	木質バイオマス事業の実現
仲介型から経営参画型や資本参加型へ	○	M&A推進
M&A・資本提携は身近な既存ビジネス関連から。リスクコントロールしながら実行	○	ソート社他、収益への寄与実績

# 前中期経営計画の振り返り



## ■ 前中期経営計画の利益目標を達成、さらに長期VISIONの利益目標も前倒し達成

		前中期経営計画期間				期間中伸び率
		2016/9期		2017/9期		
2015/9期		(計画)	(実績)	(計画)	(実績)	
(実績)						
売上	60,672	64,000	59,908	67,000	67,738	11.6%
経常利益	3,606	4,250	4,274	4,450	5,270	46.1%
配当	49	-	49	-	59	20.4%

## ■ 化成品、機械資材の各セグメントが牽引しつつ、海外現地法人も伸長し、貢献

セグメント別		前中期経営計画期間			期間中伸び率
		2015/9期	2016/9期	2017/9期	
化成品	売上	23,598	24,483	26,703	13.2%
	営業利益	1,104	1,263	1,642	48.7%
機械資材	売上	17,697	19,204	21,613	22.1%
	営業利益	1,961	2,211	2,524	28.7%
海外現地法人	売上	12,353	10,751	15,093	22.2%
	営業利益	502	366	727	44.8%
国内子会社	売上	6,788	5,294	4,093	▲39.7%
	営業利益	636	585	540	▲15.1%

# 前中期経営計画の施策と成果



施策	成果
1. コアビジネスの収益の強化と安定化	①自動車内装部品の大幅伸長 ②化成品分野の収益力強化
2. 新規事業への展開	①木質バイオマス関連機材を立ち上げ ②医薬品製造販売ライセンス取得
3. 海外展開・グローバル展開	①アセアン+インド地区の販売体制強化 ②欧州事務所開設
4. 投資案件(M&A等)への積極的取組	①ソート社(相乗効果) ②日本ルフト(医療分野展開) ③日本フリーマン(精密鑄造分野展開)
5. マンパワーの強化と人材の育成	①新卒・中途採用による一層の人材強化 ②社員教育・研修の今まで以上の充実化



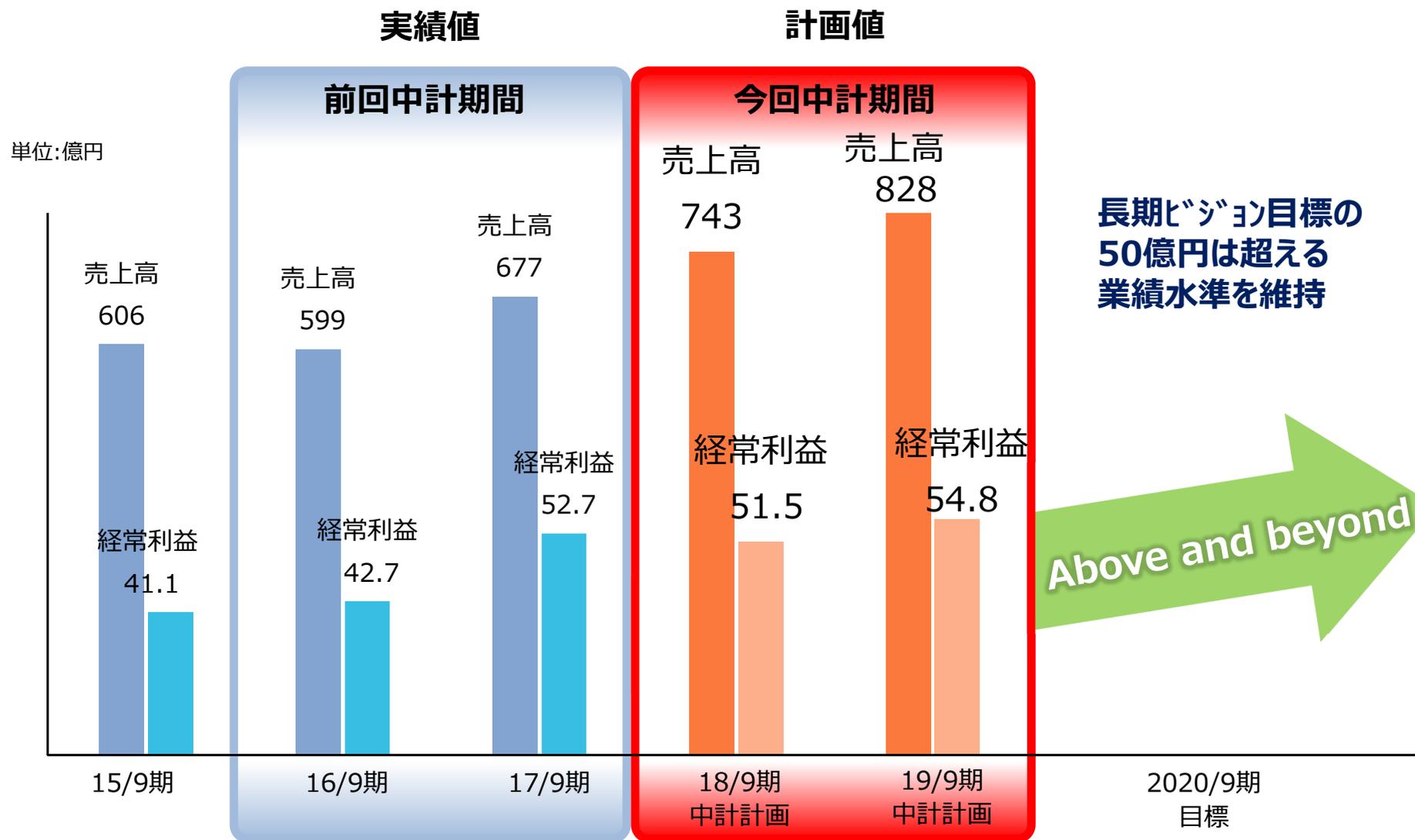
## < 課題 >

- 定性目標や組織体制のさらなる強化
  - ・コアビジネスの深化推進
  - ・新規ビジネスの立ち上げのスピードアップ
    - ☑ 特殊フィルムの海外展開体制強化
    - ☑ 地熱/海洋資源開発関連機材の推進
  - ・海外展開での拠点間連携、また管理及び組織体制強化
  - ・新規投資は引き続き長期VISIONの方針に基づき、積極的に展開

## < 新中計の方向性 >

- 長期VISIONの定性目標を据え置き、戦略の根幹として継続
- 前回の重点戦略骨子を維持しつつ、以下を踏まえた方向性
  - ・2018年9月期は、さらなる成長への力を蓄える基礎固めの年と位置付け、組織整備・投資に注力
  - ・2019年9月期以後は、基礎固めによる成果を享受し、将来のさらなる成長に繋げる
- 外部環境変化に対しては柔軟な対応
  - ・アセアン地区他新興国市場の伸長に合わせて、当社海外拠点の組織・体制をさらに強化する
  - ・新規投資は、相乗効果・成長性・グローバル展開の観点を軸に、引き続き積極的に展開する

# 長期ビジョン（VISION2020）と中期経営計画

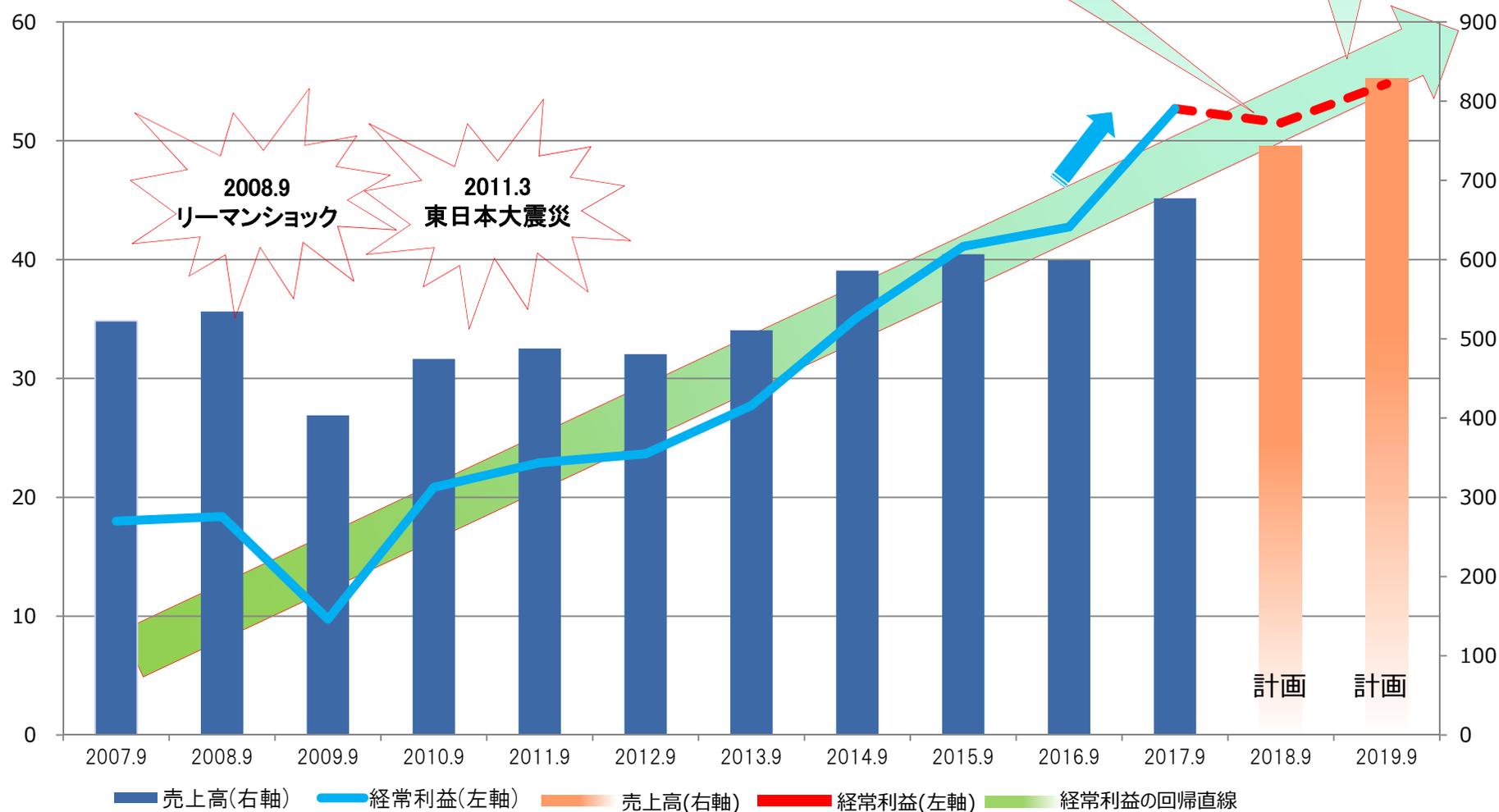


# 実績値推移と中期経営計画



- 2017年9月期；伸長率急増
- 2018年9月期；意識的な基礎固めの年
- 2019年9月期；成長基調へ回帰

単位:億円



# 2018年9月期 連結業績予想



- 堅調な自動車業況に加え、バイオマス関連ビジネスの成長見込みにより、増収予想
- 中長期成長へ向けて、組織再編や人材拡充等の先行投資型の経費を見込む。  
前期の大型スポット案件なく減益予想

(百万円)

	2017年9月期			2018年9月期		
	金額	構成比 (%)	前期比増減率 (%)	金額	構成比 (%)	前期比増減率 (%)
売上高	67,738	100.0	13.1	74,300	100.0	9.7
売上総利益	12,264	18.1	22.4	13,100	17.6	6.8
販売費及び一般管理費	7,325	10.8	22.8	8,150	11.0	11.3
営業利益	4,938	7.3	21.9	4,950	6.7	0.2
経常利益	5,270	7.8	23.3	5,150	6.9	▲2.3
親会社株主に帰属する当期純利益	3,351	5.0	21.5	3,310	4.5	▲1.2
E P S (円)	234.20	-	-	231.32	-	-

# 2018年9月期 セグメント別売上高予想



- 化成品は、ゴム関連は販売増、化学品関連はM&A効果もあり堅調に推移する見込み
- 機械資材は、バイオマス関連の大型案件実現等により好調に推移する見込み
- 海外現地法人は、引き続きグローバル戦略による伸長を見込む
- 国内子会社は、厳しいビジネス環境が続くも、新規商材・新規プロジェクトにより若干回復見込み

(百万円)

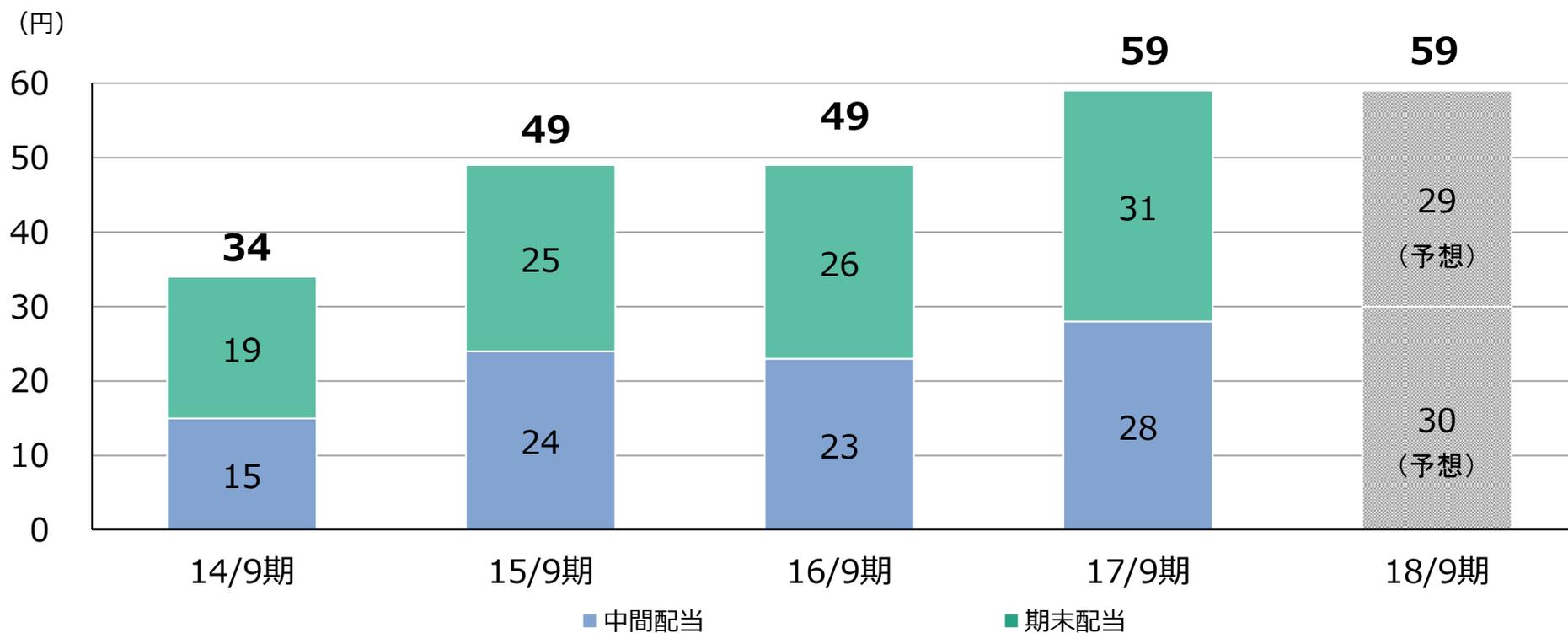
セグメント別 売上高	実績			予想		
	2017年9月期			2018年9月期		
	金額	構成比 (%)	前期比 増減率 (%)	金額	構成比 (%)	前期比 増減率 (%)
化成品	26,703	39.4	9.1	29,100	39.2	9.0
機械資材	21,613	31.9	13.1	23,700	31.9	9.7
海外現地法人	15,093	22.3	40.4	16,800	22.6	11.3
国内子会社	4,093	6.0	▲22.7	4,300	5.8	5.1
その他	222	0.3	▲4.3	400	0.5	80.2
合計(調整後)	67,738	100.0	13.1	74,300	100.0	9.7

# 株主還元



- 「利益配分に関する基本方針」に基づき、2018年9月期は59円を予想

	1株あたり配当金		
	2Q末予想	4Q末予想	合計予想
2018年9月期	30円	29円	59円



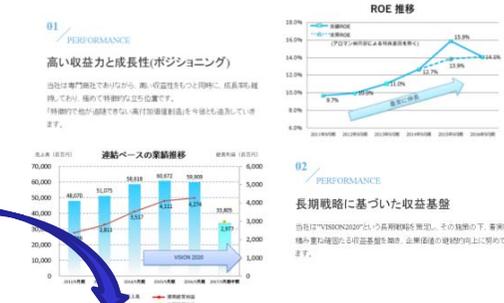
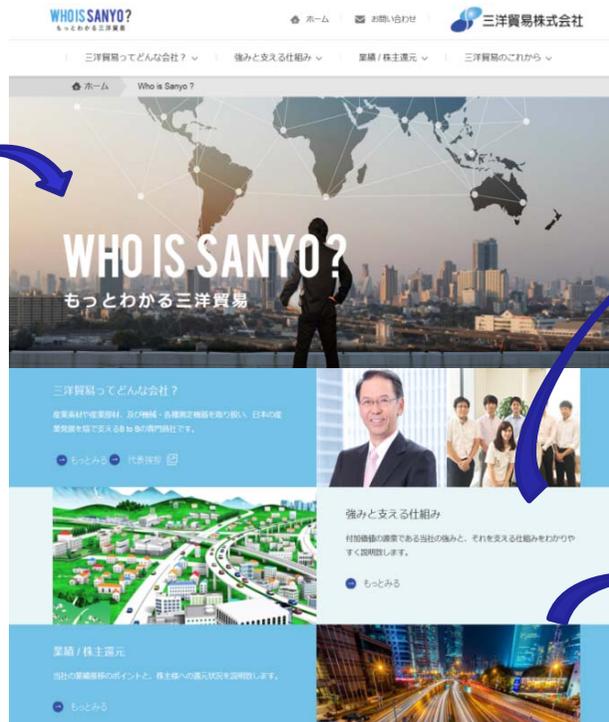
# <トピックス> 弊社会社紹介ページ新設のご案内



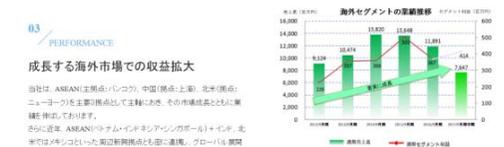
弊社の事業内容や特徴等を、より一層投資家の皆様にご理解いただけるよう、会社内容紹介ページとして「Who is SANYO?」を弊社HPに開設いたしました。是非ともご覧くださいませようお願い申し上げます。  
URL : <http://www.sanyo-trading.co.jp/guide/>

## < 弊社HP Link >

## < 会社内容紹介ページ ; 「Who is SANYO?」 >



## 業績紹介



# APPENDIX

## 会社説明資料

---





# 1. 会社概要

会社名	三洋貿易株式会社
英文社名	SANYO TRADING CO., LTD.
設立	1947年5月
代表取締役社長	増本 正明
本社所在地	東京都千代田区神田錦町2丁目11番地
事業内容	ゴム、化学品、機械機器、科学機器、自動車部品その他各種商品の輸出入、国内販売を行う市場ニーズの高い商品を取り扱い、技術的サポートを得意とする
拠点	東京、大阪、名古屋、ニューヨーク、デトロイト、上海、天津、広州、バンコク、ホーチミン、ハノイ、グルガオン(インド)、香港、イラプアト(メキシコ)、ジャカルタ、シンガポール、デュッセルドルフ
売上高	67,738百万円 (2017年9月期、連結ベース)
経常利益	5,270百万円 (2017年9月期、連結ベース)
親株主帰属当期純利益	3,351百万円 (2017年9月期、連結ベース)
従業員数	326人 (2017年9月末、連結ベース)

## 2. 沿革



1947年 5月	旧三井物産の解体に伴い、同社神戸支店有志により神戸を本店として資本金195千円をもって三洋貿易株式会社を設立	2010年 10月	インド駐在員事務所（ニューデリー）開設(2011年12月Sanyo Trading India Private Ltd.に改組)
1948年 5月	東京支店を設置	2012年 2月	三洋物産貿易（香港）有限公司を設立
1952年 12月	大阪支店を設置	10月	東京証券取引所 市場第2部に上場
1954年 1月	ニューヨーク駐在員事務所を開設(1961年2月Sanyo Corporation of Americaに改組)	2013年 10月	メキシコにSun Phoenix Mexico S.A. de C.Vを設立
1958年 8月	名古屋支店を設置	10月	東京証券取引所 市場第1部指定
1961年 11月	本店を神戸から東京に移転	2014年 8月	インドネシアにPT. Sanyo Trading Indonesiaを設立
1988年 6月	バンコク駐在員事務所を開設	2015年 6月	Bestrade Precision Singapore社を子会社化。7月に社名変更「Singapore Sanyo Trading Pte. Ltd.」へ
1990年 9月	ハノイ駐在員事務所を開設	9月	株式会社ケムインターがコムスタージャパン株式会社を子会社化
1992年 10月	ホーチミン駐在員事務所を開設(2010年2月Sanyo Trading(Viet Nam)Co., Ltd.に改組)	10月	タイにSanyo Trading (Thailand) Co., Ltd. を設立
2002年 8月	上海駐在員事務所を開設	2016年 2月	株式会社ソートの子会社化
10月	ニューリー・インスツルメンツ株式会社を吸収合併	7月	日本ルフト株式会社を子会社化
2003年 6月	バンコク駐在員事務所をSan-Thap International Co.,Ltd.社へ業務移管	2017年 2月	古江サイエンス株式会社を孫会社化(2017年9月三洋テクノス株式会社と合併。三洋古江サイエンス株式会社に商号変更)
2004年 1月	コスモス商事株式会社を子会社化(100%)	3月	ドイツにSanyo Trading Co., Ltd. Dusseldorf Representative Officeを設立
10月	株式会社東知との共同出資にて、三洋東知（上海）橡膠有限公司を設立	6月	日本フリーマン株式会社を子会社化(100%)
2006年 4月	三洋テクノス株式会社を設立	8月	広島事務所を開設
10月	株式会社ケムインターに資本参加し、発行済株式の68.52%を取得（現在76.85%）		



### 3. 事業拠点

化成品セグメント	
ゴム事業部 三洋東知（上海） 橡胶	化学品事業部 (株)ソート

機械資材セグメント		
機械・資材事業部 三洋機械工業(株)	産業資材事業部 日本フリーマン(株)	科学機器事業部 三洋古江サイエンス(株) 日本ルフト(株)

国内子会社セグメント	
コスモス商事(株)	(株)ケムインター



### 海外現地法人セグメント

#### 北米 中南米



#### アジア アセアン



### 駐在員事務所

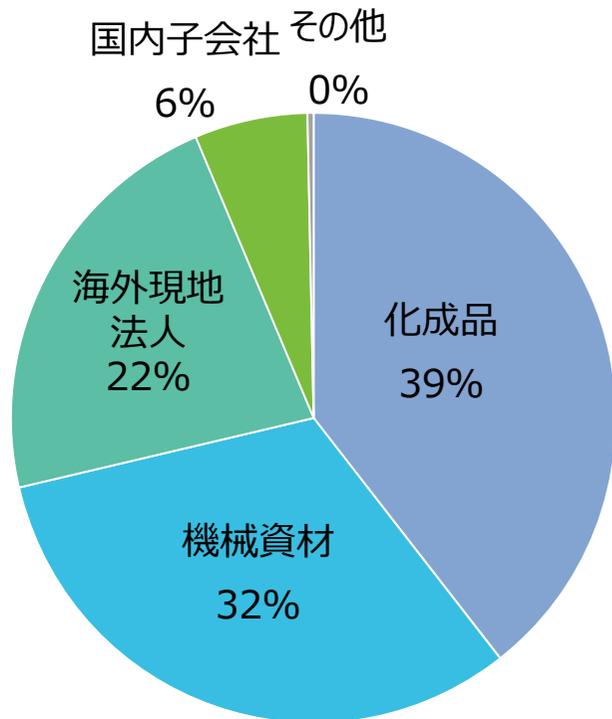
#### 欧州



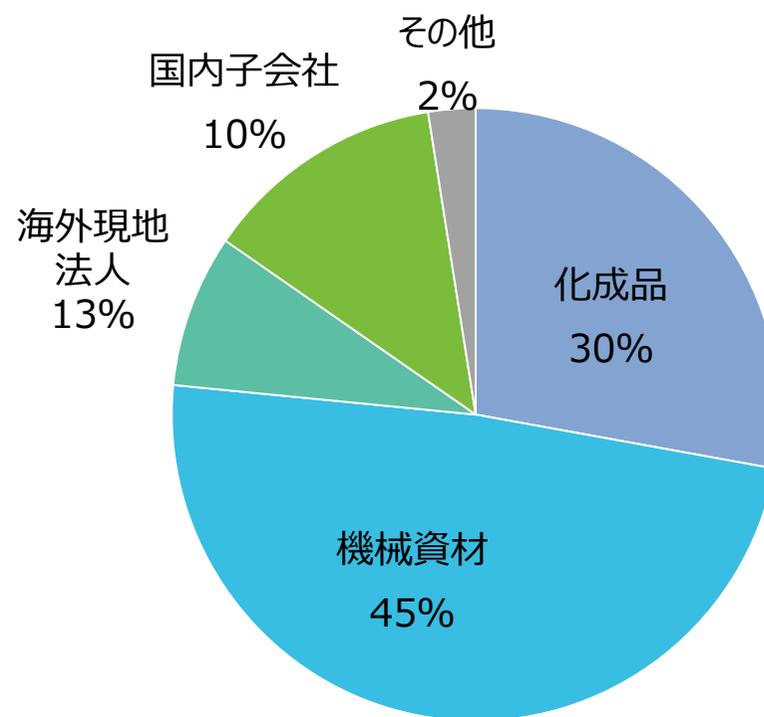
# 4. 事業ポートフォリオ



## 売上高



## 営業利益



セグメント別売上実績				
2017年9月期				
百万円				
化成品	機械資材	海外現地法人	国内子会社	その他
26,703	21,613	15,093	4,093	222

セグメント別営業利益実績				
2017年9月期				
百万円				
化成品	機械資材	海外現地法人	国内子会社	その他
1,642	2,524	727	540	128

(注) 調整前

# 5. 各事業の強みと特徴① 化成品セグメント1/2



ゴム事業部	
主要取扱商材	合成ゴム（ブチルゴム、NBR、シリコンゴム等）、 ゴム補強・充填材（特殊クレー、難燃剤 等）、 可塑剤、熱可塑性エラストマー・樹脂 等
主要販売先業界	自動車、情報機器 等
主要用途	タイヤ、自動車部品（内外装部品、防振ゴム、 ホース、オイルシール等）、OA部品（各種 ロール等）、医療関連商品等
注力分野	海外連携

## 特徴・強み

- 1952年 日本で最初に合成ゴムを輸入。ゴム産業に係る幅広い商品を取扱う
- 取引先は国内タイヤ、工業用ゴム製品の主要メーカーをほぼ網羅
- 合成ゴム、充填剤等の一般原材料のみならず、特殊ポリマー、配合剤等、多彩な商品を取扱う
- 技術系営業員によるユーザーへの技術支援、共同開発も可能
- 安定供給を維持するためのロジスティクス分野でも実績と経験を保有
- 顧客の海外進出にも対応可能なネットワークを構築

## 取扱い商材例とその最終製品例



主な仕入先	主な取扱商品	特徴
ARLANXEO/Lanxess	各種合成ゴム、可塑剤	世界No.1の合成ゴム総合メーカー、幅広い製品群を安定供給
KaMin	特殊クレー	タイヤ、工業用ゴム部品で性能向上と低コスト化を両立させる戦略商品
東レ・ダウコーニング	シリコンゴム	耐熱性に優れ、OAロール・自動車部品・医療用部品等幅広い用途

## 5. 各事業の強みと特徴② 化成品セグメント2/2

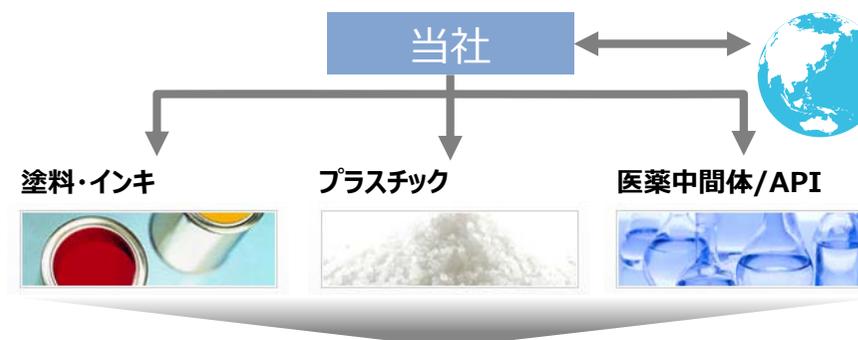


化学品事業部	
主要取扱商材	塗料・インキ用添加剤等、各種樹脂、高機能性フィルム、医薬中間体/API、電子材料、接着機器等
主要販売先業界	化学、建材、自動車、電子機器 等
主要用途	塗料、インキ、プラスチック、フィルム、医薬等
注力分野	医薬中間体/API、高機能性フィルム

### 特徴・強み

- 高付加価値のファインケミカルを取り扱う
- 医薬中間体/API、太陽電池関連、環境対応型商品など、医薬、エネルギー、環境向けにライフサイエンス商品も展開
- 優れたロジスティックノウハウでの物流サービス、在庫販売及びきめ細やかな技術サービスを提供
- 海外仕入先にてトレーニングを受けた営業員による高付加価値商品の提案、用途開発ならびに技術支援

### 取扱い商材例とその最終製品例



### 各製造メーカー



主な仕入先	主な取扱商品	特徴
Shamrock	各種ワックス	インキ・塗料用の高性能ワックス
東洋紡	各種フィルム	ナイロン、PET他高機能フィルムの幅広い品揃え



## 5. 各事業の強みと特徴③ 機械資材セグメント1/3

### 機械・環境事業部

### 取扱い商材例

主要取扱商材	ペレットミルおよび関連部品、木質バイオマス関連機器
主要販売先業界	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>ペレットミル</b> 飼料、エネルギー、リサイクル</li> <li>● <b>木質バイオマス関連機器</b> 地方公共団体等</li> </ul>
主要用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>ペレットミル</b> 飼料製造、固形燃料（ペレット）製造</li> <li>● <b>木質バイオマス関連機器</b> 電力、熱供給</li> </ul>
注力分野	木質ペレットガス化熱電併給装置（取扱開始）



CPM社 ペレットミル

### 特徴・強み

#### CPM社製ペレットミル

- 日本総代理店として60年以上の歴史
- 飼料用ペレットミルのシェアは8割以上
- メンテナンス部隊による保守点検
- ペレットミル自動制御装置のソフト開発およびカスタマイズ化で他社の輸入品と差別化

#### 木質バイオマス関連機器

- 独ブルクハルト社製。木質ペレットとのシナジー効果を期待
- 再生エネルギー利用、地域振興の政策意義



ブルクハルト社 熱電併給ユニット



ブルクハルト社 ガス化ユニット

主な仕入先	主な取扱商品	特徴
CPM	ペレットミル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 飼料、餌料においては固形化により自動給餌が可能</li> <li>● 保管と輸送費の節減が可能</li> </ul>
ブルクハルト	木質ペレットガス化熱電併給装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生可能エネルギーとして、熱電併給が可能</li> </ul>



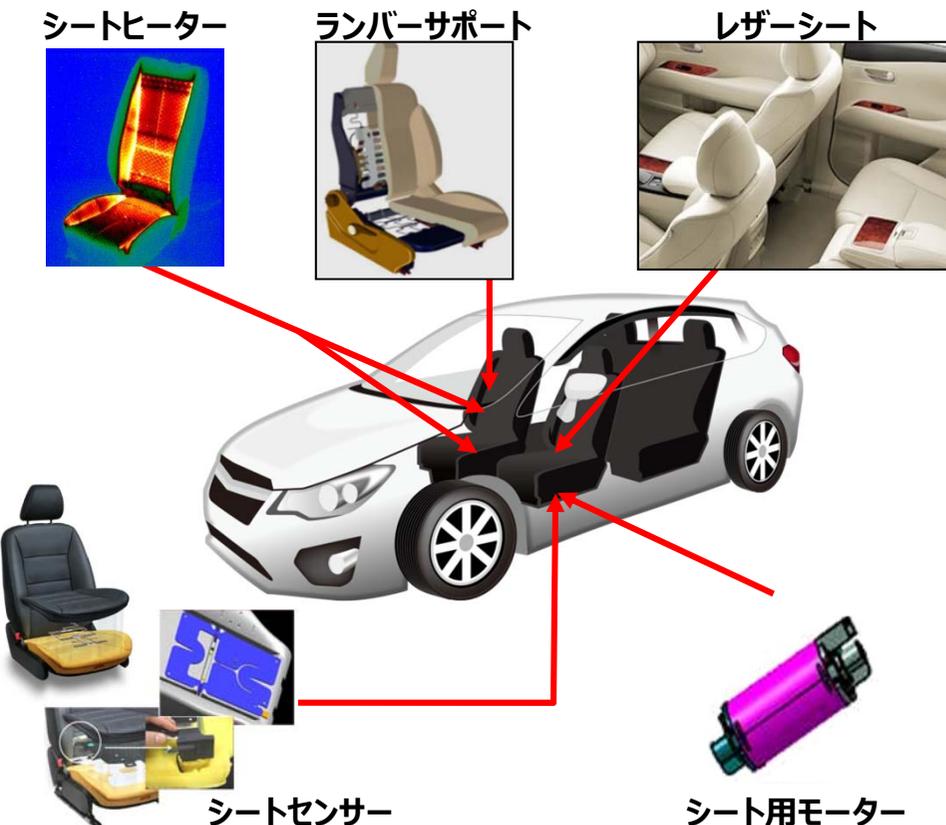
## 5. 各事業の強みと特徴④ 機械資材セグメント2/3

産業資材事業部	
主要取扱商材	自動車シート用本革、シートヒーター、ランバーサポート等
主要販売先業界	自動車関連
主要用途	自動車用内装部品（主として高級車）
注力分野	エアバッグ用センシングデバイス、空調シート（温・冷風）

### 特徴・強み

- 新車の開発段階からデザインの提案や性能開発・改良に参加
- 受注→開発→立ち上げ→量産管理→旧型補給品対応 まで一貫して対応する体制
- 自動車メーカー及びTier1との深い関係構築
- 皮革シートの厳しい納入基準をクリア
- 契約獲得できればその生産期間は売上が見通しやすい

### 取扱い商材例



主な仕入先	主な取扱商品	特徴
GST/Seton Autoleather	自動車用の本革	デザインから自動車メーカーと共同開発
Gentherm	シートヒーター	カーボンファイバー仕様の市場を独占
L&P Group	ランバーサポート	高い技術力で世界市場で大きなシェアをもつ

## 5. 各事業の強みと特徴⑤ 機械資材セグメント3/3

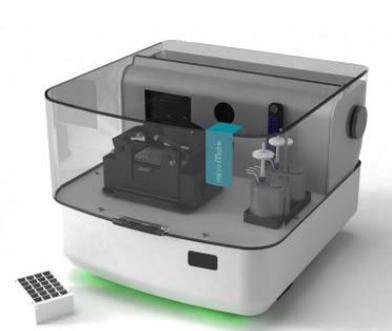


科学機器事業部	
主要取扱商材	各種検査・試験機器（摩擦試験機、金属分析器、ガス分析計、耐候性試験機、バイオセンサー、表面物性試験機等）・医療機器
主要販売先業界	国立研究所、防衛省、大学、石油、化学、自動車、製薬等
主要用途	研究開発、品質管理、判別、危機管理
注力分野	バイオリアクター、医療機器

### 特徴・強み

- 特定の分野ではなく、公官庁、民間企業とも幅広い分野に顧客を有する
- 海外の先端技術を有する多くのメーカーの優れた商品を国内に輸入、販売を行う
- 保守サービス専門子会社を保有している
- 自社ブランド商品の開発と輸入機器のカスタマイズを得意とする

### 取扱い商材例



バイオリアクター



ガス分析装置



耐候性試験機



摩耗粉分析装置

主な仕入先	主な取扱商品	主な仕入先	主な取扱商品
FALEX	摩擦試験機	Q-LAB	耐候性試験機
SPECTRO INC.	潤滑油劣化診断機器	PICARRO	温室効果ガス・同位体比分析計
PRESENS	非破壊酸素濃度計	ASI	二次イオン質量分析計

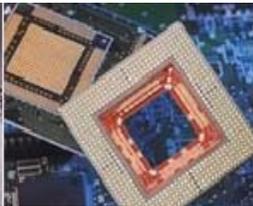
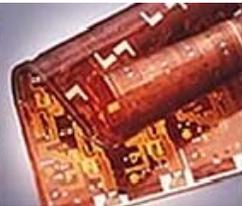


# 5. 各事業の強みと特徴⑥ 海外現地法人、国内子会社

## 海外現地法人

北米地域	Sanyo Corporation of America (米国)	化学品、ゴム原料、自動車関連 などの取扱い
アジア地域	三洋物産貿易 (上海) 有限公司 (中国)	自動車関連、化学品、ゴム原料 などの取扱い
	San-Thap International Co., Ltd. (タイ)	
	Sanyo Trading(Viet Nam)Co., Ltd. (ベトナム)	

## 国内子会社

コスモス商事	石油ガス、海洋、地熱、温泉などの資源開発機材の取扱い	  	注力分野
			<ul style="list-style-type: none"> <li>海底鉱物資源探査</li> <li>メタンハイドレート</li> <li>地震の震源域調査</li> <li>地熱</li> </ul>
ケムインター	精密化学品、医薬中間体 などの取扱い	   	注力分野
			<ul style="list-style-type: none"> <li>液晶・電子材料</li> <li>精密化学品</li> </ul>



## 6. 技術サポートと子会社

### 三洋貿易株式会社（親会社）

- メーカー並の技術的サポートが可能
- 技術系商社として開発段階から参加
- 営業員の約半数が技術系

### 1973年 三洋機械工業株式会社設立（機械環境事業部）

- 機械・環境事業部が販売したペレットミルのアフターサービス、付帯機器の設計・製造、消耗部品の保管
- 伊勢原新工場で木質バイオマス用テストプラントを設置



### 2004年 三洋東知（上海）橡膠有限公司（ゴム事業部、非連結）

- 中国における日系企業向けゴムコンパウンド事業の拠点、80%出資
- ゴムコンパウンドの製造・販売
- 主な用途：自動車、家電、情報機器、建築用ゴム部品



### 2006年 三洋テクノ株式会社（科学機器事業部、非連結）

- 分析機器・試験機の開発、設計、設置据付、試運転、トレーニングなど
- 2017年9月に古江サイエンス(株)との吸収合併により、三洋古江サイエンス(株)に商号変更



### 2016年 株式会社ソート（化学品事業部）

- UV添加剤に特化しており、得意先に提供する商材拡大・関係強化に期待

### 2016年 日本ルフト株式会社（科学機器事業部）

- 在宅医療機器分野への新規進出

### 2017年 日本フリーマン株式会社（産業資材事業部）

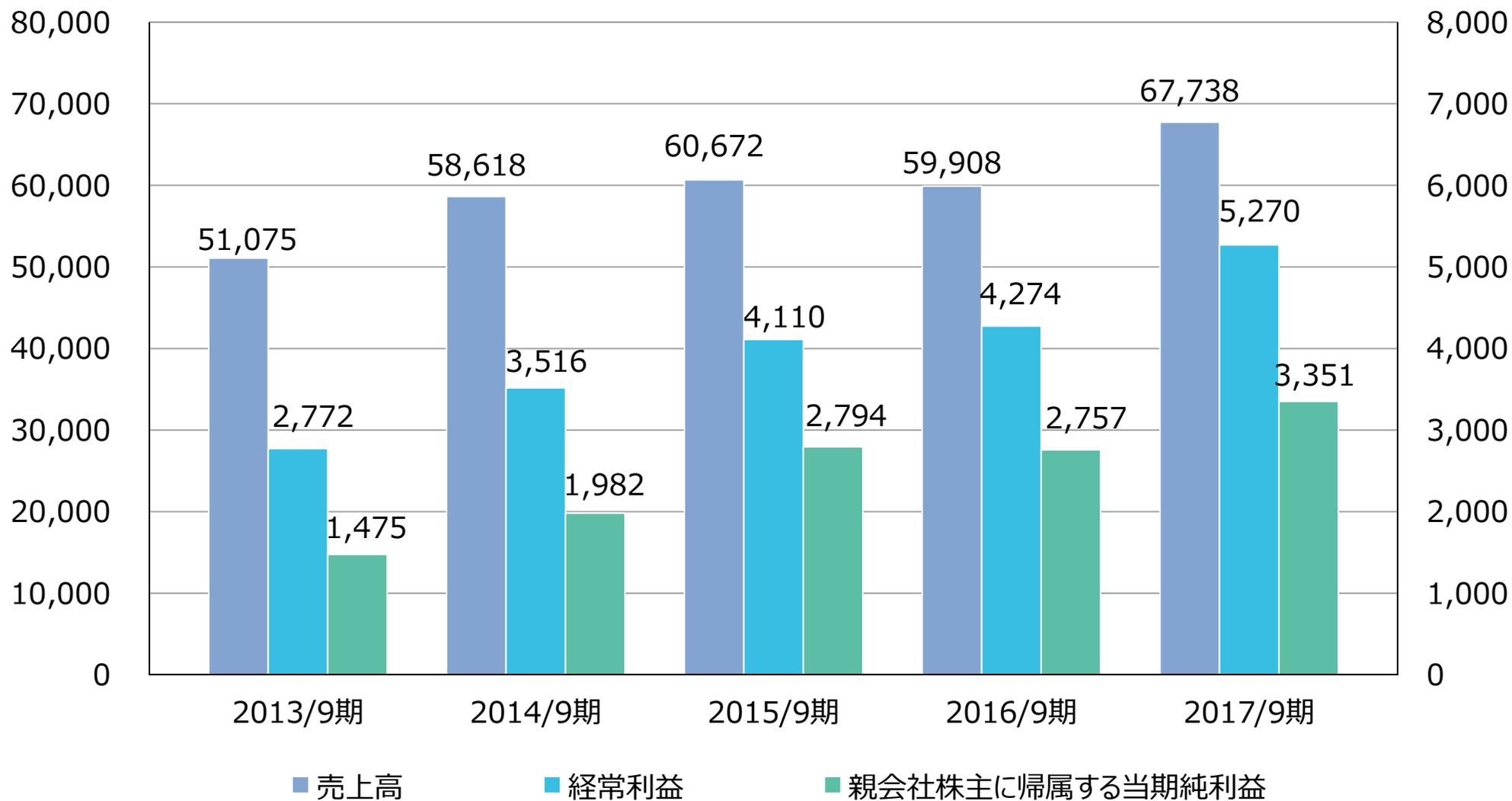
- 精密鋳造分野への新規進出

# 7. 売上・利益推移



(売上高：百万円)

(経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益：百万円)

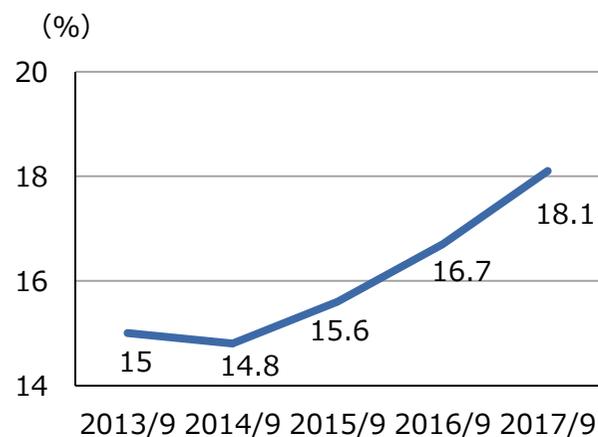


# 財務比率の推移

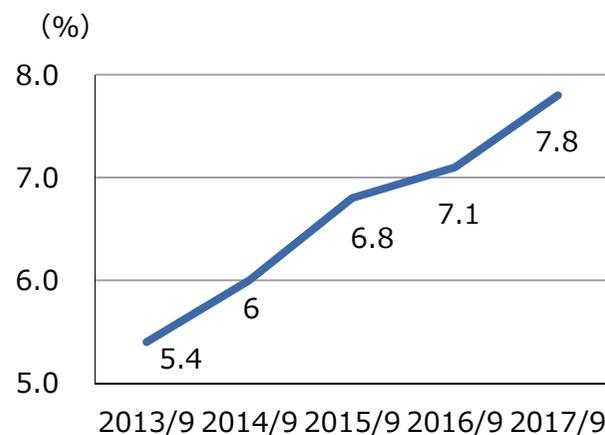


- 売上に対する利益率、資産および資本に対する利益率とも増加傾向

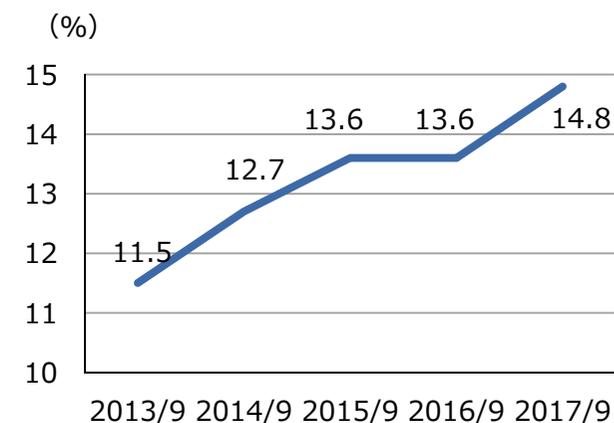
## 売上高総利益率



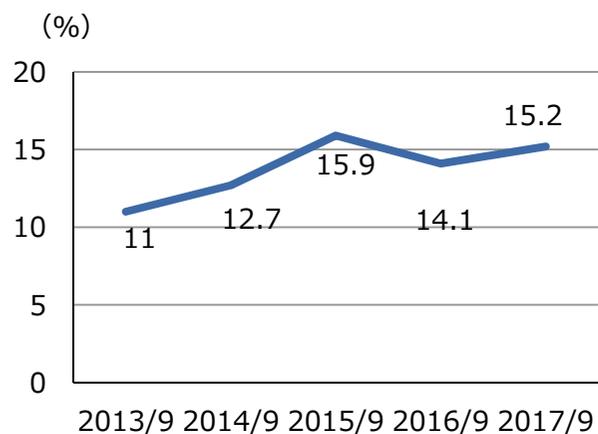
## 売上高経常利益率



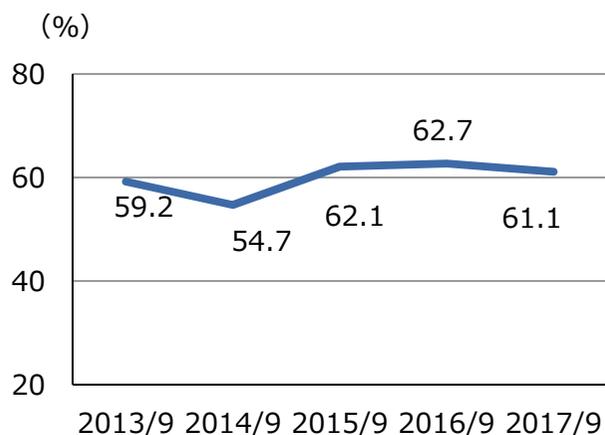
## 総資産経常利益率 (ROA)



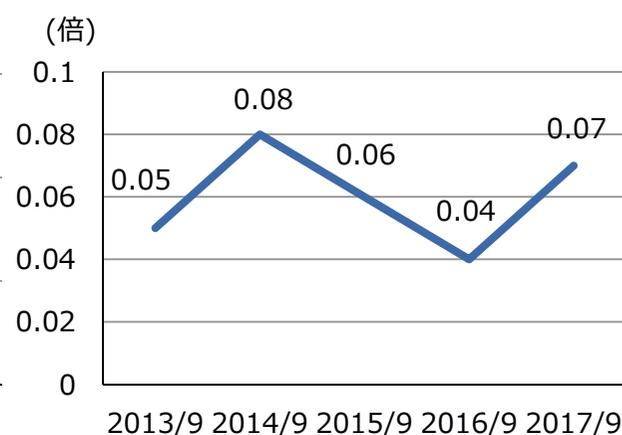
## 自己資本利益率 (ROE)



## 自己資本比率



## D/Eレシオ





## IRに関するお問い合わせ先

三洋貿易株式会社 取締役兼執行役員 経営戦略室長 新谷 正伸

電話 : 03-3518-1111 e-mail : ir@sanyo-trading.co.jp

### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。



